

連携いわい

平成 28 年 5 月
第 12 号
岩手県立磐井病院

「磐井病院新築移転から 10 年と増改築工事」

病院長 加藤 博孝



2006 年（平成 18 年）の当院移転にあたっては、両磐医療圏における中核的病院として施設・設備の充実を図り、更には圏域の医療の確保を図るため、磐井病院と南光病院を同時に新築移転・併設することが決まり、病床数 315（一般 305 床、結核 10 床）、20 診療科、免震構造で建築計画されました。

2006 年 4 月 1 日、岩手県立病院で初めての電子カルテ導入、岩手県初の緩和ケア病棟を有する新磐井病院が開院しました。2007 年 1 月には病院機能評価受審、2009 年 7 月に DPC 対象病院指定があり、DPC では電子カルテが威力を発揮しました。

2012 年 4 月に、前鯉名院長の後任として私が院長に就任し、2013 年 2 月には導入後 7 年経過した電子カルテのハードの入れ替えを行い、システムのパフォーマンスが素晴らしく向上しました。

2016 年 4 月現在、両磐地域の県立医療機関は 4 病院（磐井、南光、千厩、大東）と 1 地域診療センター（花泉）で構成され、県立病院等の経営計画において、当院は圏域における中心的な役割を担っています。さらに、「地域がん拠点病院」「地域周産期拠点病院」の指定も受けており、岩手県南・宮城県北の拠点医療機関としても機能しています。

当院では、移転後約 9 年半が経過し、2015 年 9 月から 2017 年 8 月の 2 年の工期で、救急等の増改築工事を行っています。工事の内容は、救急・中央処置部、診察室 1 室など約 1.6 倍に拡張することと、化学療法室のベッドを現在の 7 床から 12 床に増床、歯科口腔外科の治療ユニットを 3 台から 6 台に増台することです。工事期間中は、騒音や救急室が仮設になるなど、住民の皆様や消防をはじめとする関係機関へご迷惑をおかけすることになりますが、完成すれば、救急車の受入をはじめとする救急診療や、がん薬物療法がスムーズに行えることが期待されますので、皆様のご協力をお願いいたします。

2006 年の移転当初は救急受診患者数が多く危機的状況であり、落ち着くまでに 2 年を要しました。現状では、1 日約 40 名の救急患者と約 9 台の救急車を受け入れており、受入台数は 2009 年度に比べると 1.35 倍に増加しています。いわゆるコンビニ受診の抑制が図られなければ、本当に救急対応が必要な患者さんの診療に影響が出る状況ですので、夜間休日当番医の受診を進めるなど、地域の皆様のご理解と行政の取り組みを期待しております。

また、当院の重要な役割として、『教育』があります。36 年前から、研修医を受け入れてきた実績があり、2004 年に臨床研修指定病院の指定を受け、『いわてイーハトーヴ臨床研修病院群』を形成する県内 12 病院のひとつとして、研修医を毎年コンスタントに受け入れております。現在は、初期研修医 11 名が働きながら学んでおります。

以上、当院が狐禅寺に移転してから 10 年の経過と現在の状況を書かせていただきました。

最後に当院は全ての診療において、病院全職員 510 名が一丸となって医療の質を高めるべく努力しております。今後も地域の他の医療機関や、保健福祉施設、行政と密接に連携していきたいと存じますので、どうぞよろしくお願いいたします。

— 目次 —

- ・ P.1…………『磐井病院新築移転から 10 年と増改築工事』
- ・ P.2…………連携ボックスのご利用方法について
- 部門紹介『薬剤科』 —
- ・ P.3…イベント催事のご案内、紹介率・逆紹介率
新任医師の紹介
- ・ P.4……研修医の紹介

一部門紹介 「薬剤科」一

薬剤科長 佐山 英明

薬剤科は現在13名の薬剤師で、調剤・薬剤管理指導・製剤・無菌調剤・医薬品情報・薬品管理等の業務を行っています。調剤室は地下1階で南光病院の調剤室と隣り合わせとなっており国内でも類を見ない構造となっています。投薬窓口は1階にあり、調剤したものを1階に運んで患者さんに渡しています。このように複雑な構造になっているため、夜間や土日祝日の1人勤務時は上下左右に走り回って業務を行なっています。

平成27年7月に「病棟薬剤業務実施加算」の施設基準を取得し、すべての病棟に専任の薬剤師を配置しています。病棟薬剤師は、医師等の業務負担軽減および薬物療法の質の向上のために、持参薬の確認や、使用に必要な薬（ハイリスク薬等）の説明と管理に力を注いでいますが、今年度は病棟業務内容の充実を目標に掲げて、ポリファーマシーへの関与を推進し、より多くの入院患者さんに関わりを持てるよう取り組みたいと考えています。

がん関連業務では、抗がん剤を専用の安全キャビネットを使い薬剤科でミキシングしています。プロトコールに従って十分にチェックすることで、清潔で安全な抗がん剤が使用されるよう努力しており、投与される患者さんには、薬の効果や副作用、治療中に注意していただきたいことなどについて説明を行い、薬物療法が安全・安心に実施されるよう支援しています。現在、10月予定の外来化学療法室増築移転に合わせてミキシングルームを移動することになり、機器更新や業務体制の見直しを行っている最中です。

チーム医療では、がん、緩和、感染、NST等に参加し、医療の質の向上や医療安全に貢献することを目指しています。また、退院時の指導にも力を入れており、院外薬局へ入院時の服薬情報が伝わることで患者さんを中心とした連携ができるよう取り組んでいます。

薬剤師の白衣はオレンジ色のラインが入った上着です。オレンジ色は喜びや幸福感、親しみ、元気、明るいとといったポジティブな印象を与えられると言われていますが、患者さんや他職種の方のビタミン剤的な存在になればと思います。



-連携ボックスのご利用方法について-

両磐広域を中心に医療画像データの送受信を行う「連携ボックス（一関医療連携ネットワークシステム）」について、今回はあらためて利用登録手続きの手順をご紹介します。

【利用登録でご準備いただくもの】

- ①利用申請書（申込利用申請書は磐井病院地域連携室から送付します。必要な方は担当まで連絡願います。）
 - ②インターネット利用が可能なパソコン（Windows7またはMacOS-10以上を推奨）
- ※上記②の整備は各施設様の負担となります。毎月の使用料・年会費等は発生しません。

【登録手順】

1. FAXで利用申請

「利用申込書」をご記入のうえ、医療連携ネットワーク事務局（磐井病院：地域連携室）へFAX送信または郵送して下さい。

2. 端末の設定

後日、磐井病院職員が訪問し、端末の設定を行います。
（作業時間は、操作説明を含め概ね1～2時間程度です）

3. ログインし利用開始

デスクトップのアイコンをクリックし、ID/パスワードを入力して連携開始となります。

連携ボックスの利用で、画像等データ提供が迅速かつ簡単になりますので、未使用の施設はぜひご利用をご検討下さい。
詳細については事務局へお問い合わせ下さい。

担当：地域医療福祉連携室（ネットワーク事務局）

TEL：0191-23-3452 内線 8105/1354

FAX：0191-23-3990（直通）

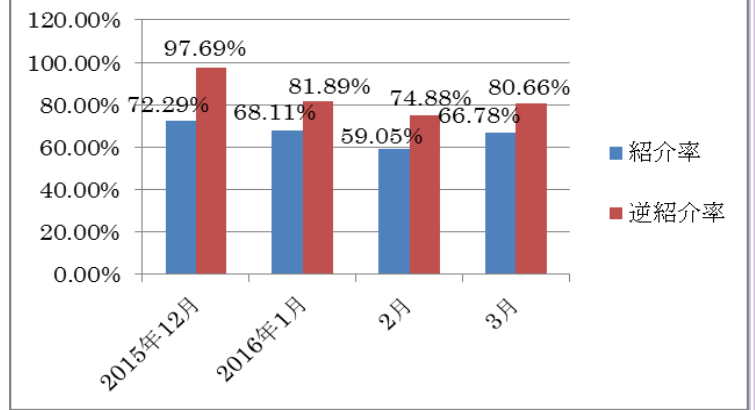


イベント・催事のご案内

地域の医療従事者・施設職員の方など、どなたでも参加可能です。お誘い合わせのうえご来場ください。

- ・ 6月11日(土)「**よろず講演会&茶話会**」
 - ・ 時間：午後1時30分～午後4時30分
 - ・ 場所：磐井病院5階会議室
 - ・ 内容：「がんピアサポーターって何？」
 - ・ 講師：びわの会代表 高橋 みよ子さん
- ・ 6月20日(月)「**緩和ケアテレカンファランス**」
 - ・ 時間：18:30～19:30
 - ・ 場所：磐井病院多目的会議室
- ・ 7月8日(金)「**平成28年度第1回ケリカルパス大会**」
 - ・ 時間：17:00～18:40
 - ・ 場所：磐井病院多目的会議室

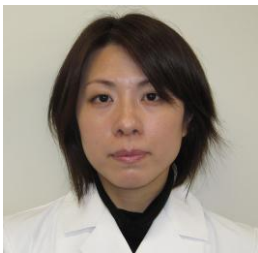
当院の紹介・逆紹介率



当院では、平成25年10月に地域医療支援病院の指定を受けており、紹介・逆紹介率は地域病院との連携状況を測る指標となっております。

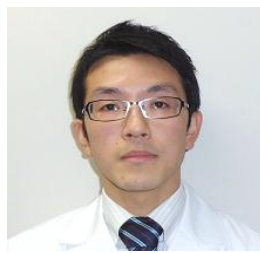
今後とも、患者様のご紹介についてどうぞよろしくお願いたします。

新任医師のご紹介



(ちだ ゆうこ)
氏名：千田 優子
役職名：整形外科医長

- ・ 出身大学：山形大学 (H17年卒)
- ・ 所属学会：日本整形外科学会、東日本手外科学会
日本骨折治療学会、日本足の外科学会
- ・ 専門分野：一般整形
- ・ ひとこと：どうぞよろしくお願いたします。



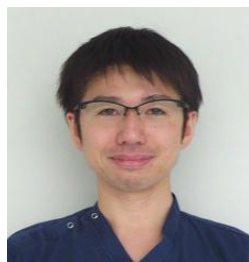
(ほんだ じゅんや)
氏名：本田 純也
役職名：消化器科医長

- ・ 出身大学：岩手医科大学 (H20年卒)
- ・ 所属学会：日本内科学会 (認定医)
日本消化器病学会 (専門医)
日本消化器内視鏡学会 (専門医)
日本消化管学会
- ・ 専門分野：上部消化管
- ・ ひとこと：丁寧な診療を心掛けて参ります。
よろしくお願致します。



(なかやま あつし)
氏名：中山 温史
役職名：歯科口腔外科医長

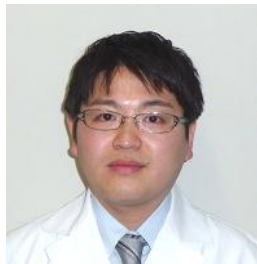
- ・ 所属学会：日本口腔外科学会認定口腔外科専門医
- ・ 専門分野：口腔外科全般、歯科一般
- ・ ひとこと：微力ではありますが、専門性を生かし、地域医療に少しでも貢献できるよう頑張ります。宜しくお願致します。



(さとう のりお)
氏名：佐藤 紀夫
役職名：小児科医師

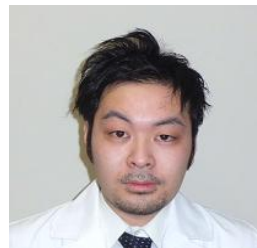
- ・ 出身大学：東北大学 (H25年卒)
- ・ ひとこと：まだまだ未熟者ですが、地域の皆様の要望にこたえられる、小児医療を目指して頑張ります！

研修医のご紹介



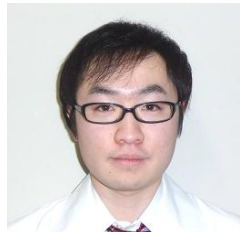
(あきもと さとし)
氏名：秋元 仁志
役職名：研修医

- ・出身大学：岩手医科大学（H27 年卒）
- ・ひとこと：よろしくお願いします。



(せいの よしやす)
氏名：清野 精康
役職名：研修医

- ・出身大学：岩手医科大学（H27 年卒）
- ・ひとこと：よろしくお願いします。



(こばやし きみひこ)
氏名：小林 公彦
役職名：研修医

- ・出身大学：東北大学（平成 28 年卒）
- ・ひとこと：よろしくお願いいたします。



(かまだ ひろふみ)
氏名：鎌田 啓文
役職名：研修医

- ・出身大学：岩手医科大学（H28 年卒）
- ・ひとこと：よろしくお願いします。



(ささき けんた)
氏名：佐々木 健太
役職名：研修医

- ・出身大学：新潟大学（H28 年卒）
- ・ひとこと：一生懸命頑張ります。よろしくお願いします。



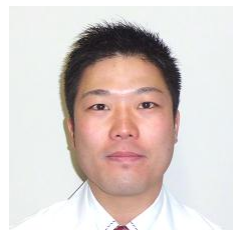
(こまい あつたか)
氏名：駒井 富岳
役職名：研修医

- ・出身大学：山形大学（H27 年卒）
- ・ひとこと：元気を持って頑張ります。よろしくお願いします。



(つちたに ゆうま)
氏名：土谷 祐馬
役職名：研修医

- ・出身大学：東北大学（H28 年卒）
- ・ひとこと：精一杯頑張りますのでよろしくお願いします。



(しょうばら しゅういち)
氏名：庄原 秀一
役職名：研修医

- ・出身大学：弘前大学（H28 年卒）
- ・ひとこと：よろしくお願いします。



(やまざき ともかず)
氏名：山崎 友和
役職名：研修医

- ・出身大学：岩手医科大学（H28 年卒）
- ・ひとこと：研修医生活非常に楽しみです。
よろしくお願いします。

【編集・発行】

岩手県立磐井病院 地域医療福祉連携室
病院ホームページ：<http://www.iwai-hp.com>

公式 Facebook：<http://www.facebook.com/iwaihp>

【連絡先】

〒029-0131 岩手県一関市狐禅寺大平 17

- ・電話：(0191)-23-3452 ・FAX(0191)-23-9691
- ・地域連携直通 FAX(0191)-21-3990